

1	日時	令和7年4月20日（日曜日） 9：00～12：00
2	活動場所	トラスト14号地 A地区（清水林）
3	集合場所	役場運動公園グラウンド東側（緑地公園前）
4	活動目的	明るく安全な景観林に
5	活動内容	折れ枝と枯れ枝集め等の林内整備
6	作業レベル	中級
7	担当世話役	原
8	道具	ヘルメット、手袋、マスク、手鋸、熊手、ゴミ袋、救急箱、ビニール紐
9	荒天対応	急な雨、又は強風のときは、中断・中止とします
10	トイレ着替	芝生公園又は弓道場トイレ

タイムスケジュール

8：30	受付
8：50	世話役・関係者打ち合わせ
9：00	集合
9：05	開会、出欠確認、作業説明ほか ストレッチ
9：15	作業開始（適宜休憩）
11：00	作業終了・用具確認
11：10	総会開会
12：00	総会閉会

作業内容

①折れ枝や枯れ枝の収集

- ・林内の折れ枝、枯れ枝を、1m以内の長さで集め、紐でしばって、指定の場所に集めて下さい。
- ・太さ10cm以上の枝は、環境センターでは処理できませんので、林内に積み置きしてください。
- ・細かい枝はゴミ袋には入れないでください。

②林内の不法投棄物等の処理

- ・林内に不法投棄されてたペットボトル、空き缶、不燃物等のごみ拾いをお願いいたします。
- ・ごみはなるべく、もやすごみ、ペットボトル、缶、びん、それ以外の不燃物に分別をしていただきたい。（最低でも可燃物、不燃物には分別してください）

春の代名詞 桜のお話

春といえば、と聞かれると卒業式や入学式、花見や新生活といったものを想像するかと思います。そのどれもに連想されるのは、やはり桜。ひとつの章が終わり、次の章がはじまるタイミングで開花する桜は、日本人にとってノスタルジックな感情を分かりやすく表現してくれるそんな花といえるでしょう。今回はそんな桜のお話。

桜はどんな木？

サクラにはさまざまな種類があり、代表的な品種としては、学校や公園に植栽されることの多い、「ソメイヨシノ」。伊豆半島南部でよく見られる「河津桜」。トラスト14号地にもある「山桜」など他にも多種多様な桜は日本全国で春の訪れを教えてください。特徴としては、日の光を好み、剪定を嫌います。その他には「いや地」と呼ばれる現象があり、もともと桜が植わっていた場所には、桜を植えると生育が悪くなったり、病気にかかりやすくなるそんな特徴があります。

開花時期には法則がある？

「桜の開花400°（の法則）」といい、2月1日に桜が目覚めた（休眠打破した）という前提のもと、以降の毎日の平均気温を足していき、合計で400°になる日が開花日、という計算方法です。この計算式は休眠打破を前提としているので、今年のように寒い冬には当たりやすく、暖冬の年ははずれやすいと思います。実は桜が咲くには「寒い冬」が必要です。前年の夏に花のつぼみが形成され、秋には休眠に入ります。真冬の一定期間厳しい寒さにさらされることで桜が休眠から目覚め、春の開花に向け活動を再開します。この寒さを受け目覚めることを休眠打破といいます。

次回活動

日時	令和7年5月18日（日） 午前9時～正午頃まで
場所	トラスト14号地
内容	下草刈りや枯れ枝集め等の林内整備